



無価値の精神

新井俊一師

前回では、仏典を読む時は、できるだけ自分の今までに培った価値観や先入観をさしおいて、仏の声をそのまま聞くことが大切だ、と申しました。しかしそれは易しい事ではありません。私たちは自分の経験に頼らなければものごとを判断できないからです。そうすると、議論は堂々めぐりをしてしまいます。新しい情報としての仏法は私たちの経験の上で聞くことになる。しかしそれではいつまでたっても仏法の深い意味が分からない。この状態をどうすれば打破できるでしょうか。私を含めて、人は皆、自分に何らかの価値を認めています。人生を生きていく間に自分の努力によって勝ち取った能力、富、地位、権力、名声等々を集めていきます。それらはその人の財産です。しかし仏の前では、そのような世俗的な価値は問題になりません。

ある人が、私たちは仏様に向かって名刺を出すことはない、と言っていました。名刺というのは私たちの社会活動をする上での一種の武器です。小さな紙切れにその人の学位や地位が書いてあって、相手もそれに応じて態度を決めなければなりません。しかし仏様はそういった相対的価値を超えたところにおられます。

何を言いたいのかというと、仏様の話を聞く時は、自分が全く無価値な者だ、という気持ちで臨まなければならない、ということです。自分を空っぽにして、仏様にすべてをゆだねる気持ちでなければなりません。人間関係の場合は、もし自分が無価値な人間だと思えば、卑屈になり、相手も馬鹿にするでしょう。ところが仏様はそういった人を温かく迎え、護ってくださいます。そこが世間的な無価値と仏教で言う無価値のちがいのなのです。親鸞聖人は「いづれの行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし（自分ほどのような行も完全にやり遂げられるような人間ではないから、地獄に落ちることは決まっている人間だ）」（歎異抄第二章）

謹賀新年



1月の予定

- 1日 10時 修正会 元旦法要
- 6日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
12時 別院新年会・役員就任式
- 13日 10時 報恩講法要
10時45分 日本語プログラム
- 19日 1-4時 日本語セミナー
ご講師 桑原浄信師
- 20日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 27日 10時 家族&子供法要
10時45分 日本語プログラム
- 3日 1時半 日系マナー法要
- 17日 1時半 日系マナー法要
- 22日 10時半 敬老ホーム法要

とおっしゃいましたが、これが「無価値」の精神です。仏の前では自分の価値を全く認めないばかりか、底抜けのマイナスの価値を認めています。だからこそ仏の教えがそのまま心と体に流れ込むのです。親鸞聖人がこのように仰る時は、「そういう自分だからこそ、仏は自分を見捨てられずに慈悲の光の中で護ってくださるのだ」という感慨が底流にあります。

私たちは皆生まれる時は素裸ですし、死んだ後でも遺体を洗ってもらう時は素裸でしょう。病院で手術を受ける時にも、衆目の中で肉体をさらけ出さなければならない時もあります。そんなときは、学位も社会的地位も、全く役に立ちません。昔の古い句に「大名も裸ではいる風呂の中」というのがありますが、大名のような力も富も具えている人でも風呂に入る時は、素裸でなければなりません。それと同じで、仏の本願のお風呂に入るためには、世間の生活で着ぶくれした雑多な衣服を脱ぎ捨てなければならないのです。

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士(ハワイ大学)、浄土真宗本願寺派教師。



新年の挨拶

カストロ輪番

明けましておめでとうございます。ことしも皆様のご家族に幸多く健康であられることを念じております。BCAの2013年の教化標語は「真実明に帰命せよ」です。これは親鸞聖人の和讃の一首です。私達の日曜法要のごとく聖人はよく“帰命”せよと説かれました。……に“帰命”する、偉大な慰める仏、想像以上の仏、究極の頼りとなる仏、無比の仏、絶大な海、最大に尊敬する仏、偉大な心の力、神聖なる仏、純粋な雅量で包み込む仏、純粋な音楽、等々(和田直訳)。(和讃 訳より 無量光、無辺光、無碍光、無对光、光炎王光、清浄光、歓喜光、智慧光、不断光、難思光、無称光、超日月光と号けたてまつる)。

阿弥陀仏は多くの名で呼ばれています、それは私達の状況によってその活動が種々の面があるからです。ですから、2013年があなたにとって苦境の年になった場合「偉大な慰める仏様に帰命せよ」。もし2013年が順調な年になった場合「最大に尊敬する仏に帰命せよ」か「純粋な雅量で包み込む仏」です。私の言いたい事はすべてがよくも悪くも、“真実明に”「帰命せよ」の一節が、よいとき独善的にならず、つらい時にも自己憐憫に落ち込まない力となります。



「真実明」ですが親鸞聖人は詩によく光のイメージを使われます。「慈悲の光」

「莊嚴なる燃え立つ光」「純粋なる光」「賢明なる光」「喜びの光」など。

聖典には「どこにいても光は仏法の喜びにたどり着く」。私たちが「真実明に帰命せよ」する時、仏法の喜びの中にいます。私は最近シニアメンバーの一人と話す機会がありました。その方の夫人はなくなる数週間前に輝いておられました。多くの方が妊婦が輝いて見えるのを認識しています。光は何か特別な崇高さを持っています。本年が皆様とご家族にとって光り輝く年でありますように。



会長の挨拶

森久保ゆきお

新年おめでとうございます。また、今年もよろしく願いいたします。

新年の初めにおいて、別院メンバー、理事、役員の方々のシートルにおいての浄土真宗を学び、営むことが出来る場所を維持するという目的に努力しておられることに再び御礼申します。その努力と献身において一世紀前の少数の一世の方々が法を聞くために創立され維持されてきたこのセンターを持続しております。

新しい年は新しいスタートを意味します。私は今年2年目の任期を、役員と共に、もっとプログラム、メンバーシップ、建物の改善を進め、私達のメンバーシップや地域にとって引き続き適合出来るように願っております。。ボランティアに支えられている私達のような団体の進歩はとて

もスローです。でも出来ます、私達の多くのボランティアのエネルギーと献身は何時も私をびっくりさせます。

すべては変わり行くと私たちは教えられました。でも去年亡くなった方々が別院メンバーであり、親しい友人であり、家族であればとてもつらい教えです。その厳しい現実もお寺の廊下を走ってゆくダーマ・スクールの生徒たちや、ジムでのキャンプ・ファイアー、スカウト、YBAの青少年の笑いとふざけごとを聞いてバランスが取れているという思いになります。日の出、日の入り。そこでまた、今年もよろしく願いいたします。



2013年法事予定

故人の面影をしのび、感謝すると共に、故人の命日を縁として、家族が仏法に触れる機会です。

亡くなった年

| | | | | | |
|-------|------|------|-------|-------|------|
| 2012年 | 一周忌 | 1年目 | 1997年 | 十七回忌 | 16年目 |
| 2011年 | 三周忌 | 2年目 | 1989年 | 二十五回忌 | 24年目 |
| 2007年 | 七回忌 | 6年目 | 1981年 | 三十三回忌 | 32年目 |
| 2001年 | 十三回忌 | 12年目 | 1964年 | 五十回忌 | 49年目 |

* 法事のご要望は別院事務所までご連絡下さい。206-329-0800.



ペット・メモリアル法要

ダーマ・スクールは今年も2月10日の涅槃会にてペット・メモリアルを営みます。どなたでもペットを亡くされ、お参りされたい方は廊下にある用紙に記入し申し込んで下さい。また今年はペットの写真をスライド・ショーで写しますので希望の方は写真も用紙に付けてください。申し込みは別院事務所まで。写真の裏に貴方の名前とペットの名前を書いて下さい。デジタルの写真がありましたら dharmaschool@seattlebetsuin.com までお送りください。締め切りは1月27日です。

シアトル別院 日本語セミナー 1月19日 1-4時 桑原浄信師

親鸞聖人からのメッセージ
-正信偈に込められた想い-④道綽禅師

詳細&申し込みは新保エツまで



婦人会便り

会長のメッセージ

馬場ジャネット

新年を迎えるに当たり、会員の皆様、そして家族の方たちのご幸福 とご健康を念じ申し上げます。

補聴システム：会員であられた故堀りりーを追憶記念して、ご主人の堀隆とご家族が本堂で使用出来る補聴システムを購入出来るよう寛大な資金を寄贈されました。購買された12個の補聴システムは本堂内に設置され、その使用法は家族礼拝の際に説明されます。加藤ジョイス、グローブス美美子、そして高島清子の方々が、このシステムを選択するのにご足労されました。



幹部会計画：去る十二月の幹部会会議は、2013年度の婦人会活動を計画する為に、常設委員会を新しく作成する事から始められました。役員会と共に、八部の常設委員会に依り各種の活動が行われます。弛まない各委員会の皆様のご奉仕、ご苦勞に心より感謝致します。この会議は会員部の高島清子そして谷野テリーの師事に依って行われました。

西北部仏徒大会：第66回西北部仏教徒大会は、白河仏教会主催で「私は誰か？」の題で、2013年2月15-17日の三日間 Double Tree Suite に於いて催されます。2月17日（日）には西北部婦人会総会があります。婦人会会員の登録は加藤ジョイスが担当で、締め切りは12月23日です。登録用紙はジョイス又は事務所の中野ジョーンから入手出来ます。

テッシュペーパー箱の寄贈：シアトル敬老、日系マナー、そして2, 3件の Assisted Living/Family Group Homes の入居者に200個以上のテッシュペーパー箱が寄贈配布されました。この寄贈の費用はシアトル別院と婦人会の共同負担でした。この寄贈配布は別院並びに婦人会の会員方に入居者方々と会い、そして会話を持つ良いご縁を齎しました。この寄贈配布の後、シアトル敬老そして日系マナーに住む仏教徒の方々の為に、カストロ先生は法話会を持たれました。

焼きそば調製：菩提日（ボデ・デー）法要後の恒例の別院サンガポットラックの為に、婦人会料理部は早朝から別院台所に集まり美味しい焼きそばを別院の皆様と分かち合う為に調製されました。別院サンガに依る沢山の美味しいご馳走と共に、焼きそばは皆様にとっても歓迎されました。この焼きそば調製にお手伝い頂いた会員は清水和美、河本雅子、中西清子、竹田園枝そして川原律子の方々でした。皆様有難うございました。
合掌

婦人会寄附：英語欄を参照下さい。

1月行事予定

- 6日（日）別院及び各団体役員就任式（午後12時） / 別院新年宴会
- 16日（水）Iris Eye カード作製クラス
- 20日（日）婦人会理事会
- 27日（日）婦人会役員会

通信書記（日）新保エツ提出



敬老訪問と成道会のポットラック用焼きそば作りの皆さん